

御列席の皆様

天皇陛下誕生日祝賀レセプションに御出席いただきありがとうございます。天皇陛下は12月23日に83歳の誕生日を迎えられます。天皇陛下は皇后陛下と共に御健康でいらっしゃいますが、来年は若かりし日にお二人がペルーを御訪問されてから50年の節目に当たります。この間の両国の歩みは、驚くほどに目覚ましいと思います。

本日のレセプションは陛下の誕生日の祝賀と共に、両国の友好関係を併せ祝すものです。

本日の式典を盛り上げてくださっている皆様を紹介します。ペルー国歌は Maritza Rodríguez さん、玄関ホールでのピアノ演奏は Melissa Araki さん、盆栽の展示は Luis Takehara さんです。そして用意した料理は公邸料理人の野口修平さんとパティシエの奈美さんのご夫婦がブフェを、さらに Miraflores 区にあるレストラン・フジ（深澤宗昭さん）が寿司、San Borja 区と Pueblo Libre 区にあるレストラン・ナルト（Rosario Susuki さん）が冷やし中華、また日本酒の飲み比べではロスの共同貿易社（石井安夫さん）及び Super Nikkei (Francisco Okada さん) からお酒を提供していただいています。テンブラの実演、日本から今年取れた新米もごさいます。皆様ご協力ご尽力ありがとうございます。

我が国日本の安倍晋三首相は2014年7月・8月、ラテンアメリカ諸国を歴訪しました。その時点では駐ペルー大使ではなかった私ですが、着任後ペルーの関係者からペルーを訪問されなかった点をご指摘頂きました。謹んで受けたまわり、本国政府に報告しました。その甲斐があったのか、2年とちょっとかかりましたが、総理のペルー公式訪問が実現しました。もちろん APEC も大成功でした。今回は、ペルーの上空を通過するだけではありませんでした。安倍・マリオでもありませんでした。

皆様、右奥のスクリーンにご注目ください。(VIDEO) (約2分)

今回のペルー公式訪問で、日本とペルーは「戦略的パートナー」となり、質の高いインフラ投資の重要性で一致し、租税条約の締結に向けた協議開始を決定し、さらにペルー国民の日本への留学を増やす努力をしていくことになりました。ペルーの OECD に対する関心を日本として歓迎するとともに、日本人移住120周年である2019年を「日ペルー交流年」として両国で祝うことでも一致しました。総理ご夫妻が日系人の皆様からも暖かい歓迎をいただき、感謝しています。

しかし、こうした私の拙いスペイン語での説明はともかく、映像を見て頂くだけで、日本とペルー両国の友好関係が大きく前進したことをお分かりいただけたと思います。

とてもよい訪問でした。(いいねのポーズをしつつ、) いいね (like!)

最後は日本の決まり文句で、締めたいと思います。

「私の挨拶が短かければ、参加されている皆さんの幸せは長く続く。」もっとも今年は去年の2倍ぐらいしゃべっています。それだけ今年は成果が多かったと思ってください。パーティーは長く続きます。どうかお楽しみください。

ペルー万歳、日本万歳、友好万歳。

ありがとうございます。